

速乾型エポキシ樹脂セメント系下地調整材

NTエポキシ速乾ファイラー

【初版】

エポキシ樹脂エマルションの主剤、硬化剤と、速乾性セメントファイラーの3成分で構成された速乾型エポキシ樹脂セメント系の下地調整材です。

硬化が速く、特に冬場の施工性に優れ、プール、防水下地、床面のコンクリート、モルタルの下地調整材として適しています。

特長

1
硬化性がよく、冬場の施工に優れています。

従来のエポキシファイラーと比較し、冬場の硬化が速く、エフロ、白化などの発生を抑制します。

2
下地に対し接着性が優れています。

接着性に優れたエポキシ樹脂エマルションを処方しており、様々な下地に対する接着性、耐久性に優れています。

3
作業性、仕上がり外観に優れています。

粒径が細かく、作業性に優れ、平坦な仕上がり外観が得られます。

用途

- プール、防水下地、床面のコンクリート、モルタルの下地調整など

荷姿

- NTエポキシ速乾ファイラー 34kgセット
 - 主剤 …… 4kg (ビニールパウチ)
 - 硬化剤 …… 4kg (ビニールパウチ)
 - パウダー …… 26kg (13kg×2袋)

NT吸水調整剤

特長

- ①コンクリートやモルタルなど、吸水の多い下地に塗布することで接着力を安定させ、ピンホール抑制に効果があります。
- ②耐水性、耐アルカリ性に優れ、安定した付着力が長期間持続します。
- ③水性タイプのため、安全に作業ができます。

適応下地

- コンクリート、モルタル、ALC、コンクリートブロックなど

製品荷姿

- NT吸水調整剤 …… 18kg 石油缶入り

標準仕様

工程	材料の調合 (重量比)	塗り回数	施工方法	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●下地の脆弱部、レイトンス、エフロ、油分、汚れなどは、事前に適切な方法で取り除いてください。					
吸水調整	●NT吸水調整剤 …… 18kg ●清水 …… 72kg	1~2回	●ローラー ●自在刷毛 ●スプレー	0.2	450 m ² /缶	1時間以上
不陸調整	●各種セメント系下地調整材					

※下地の状態により吸い込みが激しい場合は、吸水調整が2回になる場合があります。

使用方法 (施工手順)

1 施工面の清掃 (補修) 既存塗膜、下地の脆弱層、レイトンス、油脂、汚れなどはワイヤーブラシ、サンダー掛けなどで除去し、水洗いまたは高圧水洗機で清掃を行なってください。
※浮き、剥落の原因となりますので、下地洗浄は入念に行なってください。

2 吸水調整 コンクリートやモルタルで吸い込みが激しい場合は、NT吸水調整剤もしくは水打ちを行ない、吸水調整を行なってから施工してください。コンクリートブロックなど、吸水の激しい下地の場合は特に注意してください。
※ブロックなど下地の動きが想定される場合は、適切なひび割れ抑制措置が必要となります。

3 調合 下記のように調合し、モルタルミキサーやハンドミキサーなどで練り残しのないように混練してください。

【調合】

- 主剤……………4kg
 - 硬化剤……………4kg
 - パウダー……………26kg (13kg×2袋)
- } 練り上り
34kg

【調合後の可使時間・施工間隔】

材料温度	可使時間	施工間隔	
		NTエポキシ速乾フィラー 2回目	プライマー 1回目
30℃	30~40分	5時間以上、7日以内	1日以上、14日以内
20℃	50~60分	8時間以上、7日以内	2日以上、14日以内
10℃	90~120分	16時間以上、7日以内	3日以上、14日以内
5℃	120~150分	24時間以上、7日以内	5日以上、14日以内

※調合比率の間違いや混合不良は、強度や接着性の低下の原因となりますので注意してください。
※下地温度、湿度、風速、換気状況、塗布量などにより、硬化時間は前後しますのでご注意ください。

4 塗り付け コテの場合はコテ圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けてください。ローラーの場合は、ムラなく施工してください。仕上り材の種類によっては金コテ押さえなどを行なってください。

【厚みと塗布量】

厚み	塗布量 (kg/m ²)	珪砂の混合比
1mm厚	1.7	—
2mm厚	3.4	—
3mm厚	5.1	—
5mm厚	9.0	パウダーに対して、珪砂5号、50%を追加

※所定厚以上の塗り付けは、浮きや剥がれ、ひび割れの原因となりますのでご注意ください。
※ウレタン防水下地調整として、ノロピキ(0.5~1.0mm厚)も可能です。

5 養生 直射日光を避け、必要に応じて屋外ではシート掛けなどの養生を行なってください。また、施工後、降雨、降雪のおそれがある場合もシート掛けなどの養生を行なってください。
※強度がでない恐れがあるため、直射日光によって塗り付け面の乾燥が激しい場合は、塗り付け後、翌日以降に散水養生を行なってください。
※初期の雨掛かりなどは、強度不足や白化の原因となりますので、シート掛けなどの養生を行なってください。白化した場合は、白化部を削り取ってから、次工程の作業を行なってください。水洗いはしないでください。

取り扱い上の注意事項

- | | |
|---|---|
| <p>■保管時の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品は納入後3カ月以内にご使用してください。また、開封後は出来るだけ早くご使用ください。 ●雨露を避け、湿気の少ない場所で保管してください。 ●一度開封した粉体は十分に密閉し、湿気の影響を受けないように保管してください。 | <p>■施工上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●混練りの際、主剤、硬化剤、パウダー、必要に応じ混合する珪砂、それ以外の物は加えないでください。 ●材料の足し、練り戻しなどは行なわないでください。 ●外気温が3℃以下、または35℃以上の場合、施工は避けてください。 ●施工後の養生中、夜間の気温が氷点下となる場合、施工は避けてください。 ●低温高湿度の場合は養生期間を長く確保してください。 ●下地に油分が含まれる場合、接着強度が得られ難いため、油分は除去した後、施工を行なってください。 ●詳細は、警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。 |
|---|---|

※製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

㊦ 日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

- | |
|--|
| 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323 |
| 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739 |
| 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560 |
| 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256 |
| 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762 |

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

■代理店